

事業 番号	事業名	事業概要		確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果			重点等
	事業者名	実施地等			
		実施期間			
URL					

内8	第24回国際低温工 学会議・2012年国際 低温材料会議	<p>超電導現象を利用して従来技術では達成できない高性能な電力装置、交通・運搬装置、医療設備、各種標準機器等の先端技術を開拓する研究分野や超電導設備、宇宙科学の基盤となる冷凍システム等を開発する研究分野などの低温工学・超電導応用に関して、超電導・低温材料から応用システムに及ぶ幅広い分野の研究者が一同に会し、5月14日～18日に福岡国際会議場において国際会議を開催した。</p> <p>極低温下での様々な科学技術の土台になる極低温生成を可能にする低温工学と、低損失・高効率な各種の電力装置や医療設備などを実現できる超電導応用に関して、世界の各地域から科学者・技術者が結集して、超電導・低温材料から応用システムに及ぶ幅広い領域での最新の成果や今後の方向性を議論することができた。特に、超電導磁気浮上列車の最新の開発状況や実用運転までのスケジュールについての議論では、日本独自の先行技術の現状が詳細に報告され、関連する実用超伝導技術の世界的な普及への指針を示すことができています。また、日本やヨーロッパ等が中心の国際協力事業である核融合発電実験装置の開発についての議論では、次世代のエネルギー政策の基盤となる核融合に関わる低温工学・超電導技術の着実な進展が報告されるとともに、巨大科学技術における国際的な役割分担と協力が非常に重要になることが確認された。さらに、今回の会議で特徴的な議論として、東北大震災を経験した日本におけるこれからの低温工学・超電導技術のあり方についての基調講演が設けられた。今後のエネルギー利用について、超電導技術を利用した国際的な電力網の構築などの構想について有意義な意見交換がなされた。これら一連の多彩な議論は、国際的な協力も含めてこれらの関連分野の学術的發展を推進するとの共通認識を持つことができたと考えている。加えて、ショートコースや研究施設等の見学会を通して、当該分野の若い研究者・技術者への情報発信や参加者間の交流なども進めることができた。</p>	3,300	国際会議
	公益社団法人 低温 工学・超電導学会	<p>【実施地等】福岡</p> <p>【実施期間】2012/5/14～2012/5/18</p>		
	<p>http://www.icec24-icmc2012.org/index.html</p>			